

【対談・インタビュー・放送】

1. (1972/7/30) NHK 教育テレビ「すわる」(大森曹玄・西川玄台・草鹿浅之介と共演)。
2. (1973) 「Einheitspsychose をめぐって」(千谷七郎・高橋良・飯田真・新福尚武との対談)『精神医学』第 15 巻第 8 号、820~835 頁；15 巻 9 号、928~953 頁。
3. (1975) 「Transcultural Psychiatry について」(荻野恒一・加藤正明・河合隼雄・中根千枝・逸見武光との対談)『精神医学』第 17 巻第 13 号、1420~1432 頁。
4. (1976) 「文化としての感性」(中村雄二郎との対談)『現代思想』第 4 巻第 8 号、130~149 頁。
5. (1977) 「時間と人間」(村上陽一郎との対談)『理想』第 525 号 (1977 年 2 月号)、7~9 頁 (『木村敏対談集 2』)。
6. (1979/5/25) 「仮面うつ病」NHK 教育テレビ「今日の健康」。
7. (1979) 「間の病理としての精神分裂病」(作田啓一・河合雅雄・梅原猛・中村雄二郎・上田閑照との対談)『創造の世界』第 32 号、98~119 頁。
8. (1979/9) 「人間学における精神分裂病」(笠原嘉との対談)『中央公論』第 1110 号、166~177 頁。
9. (1979) 「自我とはなにか——ルソーとロマン主義」(中川久定との対談)『現代思想』第 7 巻第 16 号、92~111 頁。
10. (1980) 「間——人間存在の核心」(武満徹との対談)『現代思想』第 8 巻第 11 号、142~162 頁 (『木村敏対談集 1』、著作集 8)。
11. (1982/1/11) 「現代の精神病理学——ドイツと日本の間」(笠原嘉との対談)『医学界新聞』第 1480 号。
12. (1982/5/13) 「日本語を考える」(金田一春彦・樋口恵子と共演) NHK 教育テレビ。
13. (1983) 「自己・役割・他者」(廣松渉・中川久定との対談)『思想』第 704 号 (1983 年 2 月号)、27~57 頁 (廣松渉『学際対話・知のインターフェイス』青土社、1990 年、211~252 頁)。
14. (1983/3/21~3/23) 「うつ病・躁うつ病・対人恐怖」NHK ラジオ。
15. (1983/3/9) 「現場の視点」『中日新聞』夕刊。
16. (1984/6/14) 「分裂病の精神病理」岩波映画。
17. (1984/8/29) 「間と人間関係」NHK 教育テレビ。
18. (1985) 「他者に教えること・または〈言語ゲーム〉の共有」(柄谷行人との対談)『現代思想』第 13 巻第 12 号、188~206 頁。
19. (1986) 「さまざまな〈自己〉・さまざまな〈あいだ〉」(小林敏明との対談)『現代思想の饗宴——The Bungei Critics 1』河出書房新社。
20. (1986) 「人と人との間」(古井由吉との対談)『Scope』第 25 巻第 4 号、2~9 頁。
21. (1986) 「精神科新任教授木村敏先生に聞く」(インタビュー)『芝蘭会報』3 号。
22. (1986/4/23) 「透徹する精神医学者 木村敏さん」(インタビュー)『読売新聞』。

23. (1986/5/26) 「〈正常〉〈異常〉とは何か 木村敏氏に聞く」(インタビュー)『毎日新聞』夕刊。
24. (1986/12/3) 「人といい関係 “立場”超え甘え上手に」(インタビュー)『読売新聞』。
25. (1987) 「宗教の隠蔽と開示」(インタビュー)『現代思想』第 15 卷第 2 号、82～90 頁。
26. (1987/6/30) 「てんかんの人間学」日本短波放送。
27. (1987) 「言語・宗教・絶対の他」(中村雄二郎との対談)『現代思想』第 15 卷第 12 号、218～235 頁。
28. (1987) 「「うつ病」をめぐって」(高橋良・笠原嘉との対談)『Pons』第 1 巻、1～9 頁。
29. (1988) 「〈分裂病〉をめぐって」(中井久夫・市川浩・柄谷行人との対談)『季刊思潮』1988 年 2 月号、6～47 頁(『木村敏対談集 2』)。
30. (1988/6) 「「間」と「気」の人間学」(平田精耕との対談)『柏樹』第 65 号、8～18 頁。
31. (1989) 「三つの時間」(原田茂生との対談)『ポリフォーン』1989 年 4 月号、60～73 頁。
32. (1990) 「運命分析とソンディの世界」(鈴木清・大塚義孝との対談)『現代のエスプリ』第 273 号、9～35 頁。
33. (1990/2/15) 「性の境界領域へ——現代の病理とナルシズム」(上野千鶴子との対談)(上野千鶴子『性愛論』河出文庫、77～112 頁)。
34. (1991) 「モーツァルトの誘惑」(芦津丈夫・高橋英郎との対談)『中央公論』1991 年 3 月号、302～313 頁。
35. (1991) 「治療と理論のあいだで——精神分裂病の三角測量」(安永浩・中井久夫との対談、内海健司会)『Imago』第 2 卷第 6 号、74～102 頁(『木村敏対談集 1』)。
36. (1991) 「うつ病の遷延化とその予防 木村敏先生に聞く」(インタビュー)『Depression up to date』第 4 巻、持田製薬株式会社。
37. (1992) 「〈あいだ〉の在処をめぐって——個別以前の生命のオントロジー」(中嶋聡との対談)『Imago』第 3 卷第 8 号、226～243 頁。
38. (1993) 「精神医学と哲学の対話」(中村雄二郎との対談)『世界』第 583 号 (6 月号)、249～261 頁。
39. (1994) 「ゲオルギアードス『音楽と言語』」(村上陽一郎との対談)、講談社ブックチャンネルスペシャル。
40. (1995) 「『エス』とは何か——『あいだ』から根源的生命へ」(小林敏明との対談)『Imago』第 6 卷第 11 号 (1995 年 10 月号)、40～61 頁。
41. (1996) 「精神病理学とオートポイエーシス」(花村誠一との対談)『現代思想』1996 年 2 月号、32～49 頁(『木村敏対談集 1』)。
42. (1996) 「主体性と種と個体」(柴谷篤弘との対談)『ビオス』1996 年 2 月号、178～199 頁。
43. (1996) 「『世間』と『社会』のあいだ」(阿部謹也との対談)『諸君!』1996 年 3 月号、202～211 頁。

44. (1996) 「人間はもともと五感を超えたものに囲まれて生きている」(池田晶子・養老孟司との対談)『コミュニケーション』第11巻第64号(1996年12月号)、3~10頁。
45. (1996) 「身体のなかの進化論」(岡田節人との対談)『談』第196号5月号、49~67頁。
46. (1997) 「『植物の貌』は自然と人間との間に起こる出来事」(インタビュー)『いけ花龍生』1997年1月号(第441号)、17~21頁。
47. (1997) 「けっして死なない生、あらゆるものを生み出す死」(インタビュー)『いけ花龍生』1997年2月号(第442号)、17~21頁。
48. (1997) 「自分に閉じこもらず〈世界〉へ出ていくために」(インタビュー)『全郵政ジャーナル』1997年3月号(第268号)、4~16頁。
49. (1997) 「生の哲学と死の欲動」(新宮一成・浅田彰・柄谷行人との対談)『批評空間』第2期第15号、6~34頁(『木村敏対談集2』)。
50. (1998/1/12) 「情報化社会は人に何をもたらすのか」(浅田彰と共演)NHK第1放送。
51. (2000/5) 「共通感覚論の可能性」(中村雄二郎との対談)中村雄二郎・木村敏監修『講座生命2000』第2巻、河合文化教育研究所(『木村敏対談集2』)。
52. (2001/8) 「『場所』をめぐって」(中村雄二郎との対談)中村雄二郎・木村敏監修『講座生命2001』第5巻河合文化教育研究所。
53. (2002/11) 「西田哲学と精神医学」(藤田正勝との対談)岩波書店『図書』2002年11月号、38~44頁。
54. (2003/1) 「精神分裂病と臨床哲学——広い視野をもって患者と向き合うために」(河合隼雄との対談)『Marta』日本イーライリリー株式会社、第1巻第1号、9頁。
55. (2003/7) 「時間とあいだ」(大澤真幸との対談、高橋義人司会)『人環フォーラム』第13号、2~11頁(『木村敏対談集2』)。
56. (2003/9~11) 「和田秀樹対談シリーズ第1回」(和田秀樹との対談)『PSIKO』第36号、44~53頁;第37号、33~43頁;第38号、28~33頁。
57. (2004/9) 「これからの自閉症論を求めて」(十一元三・小林隆児との対談)『こころの臨床 à-la-carte』第23巻第3号。
58. (2004) 「アクチュアリティとヴァーチュアリティの関係をめぐって」(谷徹・斎藤慶典との対談)中村雄二郎・木村敏監修『講座生命2004』第7巻、151~208頁。
59. (2005/2/26) 「風韻 純粋な心を見つめてきた」(インタビュー)『朝日新聞』。
60. (2005) 「生き残りの“偶然と必然”——『どうしようもなさ』と『かけがえのなさ』が交差する場」(鷲田清一との対談)『MOKU』2005年11月号、MOKU出版。
61. (2006/5/7) 「私のデビュー時代」(インタビュー)『東京新聞』。
62. (2006) 「生と知のアクチュアリティ」(坂部恵との対談)木村敏・坂部恵監修『身体・気分・心——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、13~63頁。
63. (2007) 「関係性の精神哲学」(インタビュー)『季刊ロゴスドン』2007年夏号(第70号)、6~29頁(『学問の叡智に学ぶ』5巻、ヌース出版、2009年に再録)。

64. (2008/12/21) 「語る 臨床の知究める」(インタビュー)『日本経済新聞』。
65. (2009) 「〈作り〉と〈かたり〉」(坂部恵との対談) 木村敏・坂部恵監修『〈かたり〉と〈作り〉——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、21~69 頁 (『木村敏対談集 2』)。
66. (2009) 「瞬間と偶然をめぐって」(小林敏明・斎藤慶典・入不二基義・植村恒一郎との対談)『思想』第 1019 号 (2009 年 3 月号)、116~155 頁。
67. (2009) 「変化するところ、変化しないところ」(河合俊雄・鎌田東二・畑中千紘との対談)『こころの未来』2009 年 3 月号 (『木村敏対談集 1』)。
68. (2009) 「臨床の哲学」(杉村靖彦との対談)『文明と哲学——日独文化研究所年報』第 2 巻、燈影舎、8~28 頁。
69. (2009) 「第 13 回日本の精神病理学・回顧と展望『木村敏先生をお訪ねして』」(鈴木茂・深尾憲二郎との対談)『臨床精神病理』第 30 巻第 3 号、233~263 頁 (『木村敏対談集 1』)。
70. (2011) 「中動態という場をめぐって」(野家啓一との対談) 木村敏・野家啓一監修『空間と時間の病理——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、25~75 頁。
71. (2010) 「統合失調症と自閉症の現象学」(村上靖彦との対談)『現代思想』第 38 巻第 12 号、34~58 頁 (『木村敏対談集 1』)。
72. (2010/11) 「当事者ならわかる、木村敏」(向谷地生良・西坂自然・清水理香・宮西勝子・山根耕平との対談)『精神看護』第 13 巻第 6 号、2~16 頁 (『木村敏対談集 1』)。
73. (2010/11/9) 「毎日出版文化賞の人々 木村敏さん」(インタビュー)『毎日新聞』夕刊。
74. (2011/5/10) 「トーク&トーク 老いに学ぶ 人と人の『あいだ』を見つめて」(インタビュー)『毎日新聞』。
75. (2013) 「「自己」と「他者」」(野家啓一との対談) 木村敏・野家啓一監修『「自己」と「他者」——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、21~61 頁。
76. (2013) 「看護ケアと臨床哲学」(西村ユミとの対談)『現代思想』第 41 巻第 11 号、38~61 頁 (『木村敏対談集 1』)。
77. (2015) 「臨床哲学とは何か」(野家啓一との対談) 木村敏・野家啓一監修『臨床哲学とは何か——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、23~71 頁 (『木村敏対談集 2』)。
78. (2016) 「臨床哲学／芸術の中動態」(森田亜紀との対談)『現代思想』第 44 巻第 20 号 (臨時増刊 総特集木村敏——臨床哲学のゆくえ)、8~25 頁。
79. (2017) 「生と死のあいだで」(野家啓一・谷徹・内海健との対談) 木村敏・野家啓一監修『生命と死のあいだ——臨床哲学の諸相』河合文化教育研究所、21~66 頁。
80. (不明) 「masked depression をめぐって——その診断と治療」、1~8 頁。